



2024年開業の「都城インター倉庫」

- 本社所在地：宮崎県都城市都原町3062番地9
- 事業概要：創業1970年。主な事業は南九州と関東・関西への長距離物流。車輛台数約160台。九州・関西の複数拠点を持ち、昨年都城インター近隣に物流倉庫を開業。
- 常時使用する従業員：153人（2025年3月期）
- 現在の売上高：23億円（2025年3月期）
- 法人番号：4350001007955
- Web：<https://www.kusamizu-unso.com/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
草水 裕之

南九州の幹線物流拠点としてモノ×コトを運ぶ「プレミアム物流」

1970年から55年間、宮崎と関東関西をつなぐ物流企業として信用を積み上げて参りました。100年企業に向けさらに変化の大きな時代に対応するべく、これまでのモノを運ぶ物流から、顧客を南九州での安定した営業拠点化に導くためコンサルティングと低コストを実現するデジタル化のコトを掛け合わせた「プレミアム物流」に着手します。また少子高齢化で人手不足が進む地元宮崎の零細運送企業の受注ハブ的役割も担っているため先駆けて受注基盤を築くことが当社の役目でもあります。自動運転、テレマティクスなどに対応するべくデジタル人材教育投資を進め省力化・高効率化で短時間労働化と高付加価値化を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- 1.14年後、2039年の売上高100億円達成に向け、年平均成長率約11.2%の成長を目指します。
- 2.トラック1台当たり売上を現状の1200万円から業界平均2,000万円を上回る2400万円を目指します。
- 3.コンサルティング及びDX強化と受注プロセス改善により高単価貨物の輸送割合を増加させます。中央・南九州でも活況となっている半導体・精密機器など誘致企業からの受注を強化します。

課題

- ①トラック稼働率の改善：50%→80%へ
 - ・デジタル投資（自動運転・テレマティクス）の未対応
 - ・ドライバー（採用数）不足
- ②高単価貨物の受注：
 - ・製品ストック倉庫のキャパ不足
 - ・コンサルティング・マーケティング（ターゲットへの情報認知）・デジタルそれぞれの人材不足

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- I.デジタル投資による高効率化
 - ・テレマティクス導入
 - ・自動運転導入
- II.長中期投資
 - 倉庫増設：2024年開業の都城インター倉庫の敷地内に増設
 - M&A：高受注単価の同業者のM&A
 - 増員及びトラック増車：現状の180台から+260台増車とそれに伴う人材の補充

実施体制

- 3つの新規プロジェクトを発足し縦横断的に100億円達成のために以下の業務推進を行う実勢体制を作ります。
- A.デジタル化プロジェクト
 - 自動運転、テレマティクス、DXなどのデジタル化の推進と導入
 - B.採用及び人材育成プロジェクト
 - 少子高齢化の中でも採用力の長期的強化と採用後の事業戦略に沿った人材育成
 - C.事業投資プロジェクト
 - 倉庫や営業拠点の設置、M&A、トラックの増車など投資を計画及び実行。社内外の人材による財務的・投資的な評価を検証する

100億円達成までの14年間の事業進捗

第一段階：効率化と基盤強化（1～5年目、売上23億円→40億円、トラック180台→250台）

目標：稼働率55%→70%、1台あたり売上1,200万円→1,600万円。
稼働率向上：デジタル化によるルート最適化で空車率10%削減。売上15%増。
コンサルティング・マーケティング：精密機械製品・食品・医薬品などの高単価貨物の受注。単価20%向上。
設備投資：顧客へのコンサルティング営業と併せて隣接地への倉庫増設によるキャパシティ増加

第二段階：事業拡大と新規進出（6～10年目、売上40億円→67億円、トラック250台→335台）

目標：M&Aで1台あたり売上1,600万円→2,000万円。
M&A：九州内の幹線物流企業（売上5億円から10億円）の企業買収
特に医薬品、精密機械、危険物などを専門に扱う高単価貨物の受注企業
設備投資：九州内に倉庫を複数増設し事業拡大（売上5億円から10億円増）
デジタル投資：自動運転導入を見据えた投資開始

15
15年間の事業進捗目標（左軸、百万円）及び車両1台当たりの売上（右軸、万円）

